

遠野市長記者懇談会(平成28年10月28日) 発表項目

■日時 平成28年10月28日(金) 10:00~11:00
■場所 市役所とぴあ庁舎 大会議室

【発表項目】

1 遠野市市制施行11周年記念功労者表彰式について (資料No. 1)

2 平成29年度遠野市総合計画の取組みについて (資料No. 2)

3 スポーツツーリズム推進室の設置について (資料No. 3)

4 東日本豪雨災害対応に係る検証結果について (資料No. 4)

5 災害公営住宅の整備について (資料No. 5)

6 遠野型ふるさとテレワーク推進事業について (資料No. 6)

7 平成28年度上半期の観光客等入込状況について (資料No. 7)

今後の主要行事、お知らせなど

- (1) 第11回遠野市民芸術祭の開催について(別添チラシ)
- (2) 第27回遠野少年少女合唱隊発表会の開催について(別添チラシ)
- (3) 遠野市民センターバレエスタジオ第39回発表会の開催について(別添チラシ)
- (4) 遠野ふゆ物語について(別添チラシ)
- (5) 遠野文化研究センター講演会「危機と日本人一今、遠野に伝えたいこと」の開催について(別添チラシ)



遠野市記者発表資料
平成28年10月28日
総務部 総務課

遠野市市制施行11周年記念功労者表彰式について

【発表の要旨】 市制施行11周年の記念式典において、功労者表彰式を開催します。

【発表の内容】

1 日時 平成28年11月3日（木・祝） 午後1時～午後4時30分

2 場所 あえりあ遠野 交流ホール

3 内容

- (1) 第1部 功労者表彰式（当日の表彰・感謝状贈呈 67個人又は団体）
- (2) 第2部 第13回市民健康講座
 - ア 演題 「じわじわと体をむしばむ歯周病」
 - イ 講師 岩手医科大学歯学部 教授 八重柏 隆 氏

4 出席者

受賞者、市議会議員、各種委員会の委員等、市内団体の長等、市勢振興功労者等、県の機関・学校・官公署等、各地区の区長会長・地連協会長等、職員（部課長等）
合計 約400名を予定

5 主な受賞者

(1) 市勢振興功労者（3名）

遠野市表彰条例の規定により、市勢の振興及び公共福祉の増進に尽くし、その功労が極めて顕著であるものを表彰する。

ア 菊池 啓造 氏 83歳（青笹町） 【地方自治の進展等に関し功績顕著】

旧遠野市議会議員として要職を歴任したほか、長年にわたり民生児童委員、青笹町地域づくり連絡協議会長及び行政区長等を務め献身的に地域の振興に貢献した。

イ 小松 喜一 氏 81歳（遠野町） 【産業振興等に関し功績顕著】

長年にわたり遠野建設組合組合長や遠野職業訓練協会会长等の要職を歴任し、自身も訓練校の指導員として多数の技術者を養成し、産業の振興に貢献した。

ウ 細川 巖 氏 80歳（上郷町） 【消防等に関し功績顕著】

長年にわたり遠野市消防団員として精励し、東日本大震災時においては団長として消防の使命達成に尽力した。

(2) 特別表彰（2個人、2団体）

ア 佐藤 吉美 氏 80歳（上郷町） 【民生の安定に関し功績顕著】

遠野市身体障害者福祉協会会长として障がい者の更生援護と共生社会の実現のため尽力するなど、公共福祉の増進に貢献した。

イ 小澤 禮二 氏 78歳（花巻市）【民生の安定に関し功績顕著】

医師として36年の長きにわたり宮守町における地域医療の確保に尽力し、住民の健康増進に貢献した。

ウ 遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会 【民生の安定に関し功績顕著】

健康で豊かな生活を送るために欠くことができない命の源である「食」の重要性について、地産地消の取組とともに啓発活動を推進し、市民の健康増進に寄与した。

エ 遠野市運動普及推進員協議会 かっぱの会 【民生の安定に関し功績顕著】

運動普及の推進活動のほか、介護予防教室への協力や東日本大震災による市内仮設住宅入居者とのグラウンドゴルフ交流など、市民の健康増進に寄与した。

(3) 特別協力者表彰 (3名) 【市政の進展に関し功績顕著】

ア 山田 晴義 氏 (神奈川県茅ヶ崎市)

イ 秋山 信勝 氏 (盛岡市)

ウ 工藤 洋子 氏 (盛岡市)

平成15年からの遠野市地域経営懇話会及び平成22年からの遠野市進化まちづくり検証委員会と、長年にわたって遠野市の地域経営政策に参画し、専門的見地から多くの提言を行い、市政の進展に貢献した。

(4) 協力者表彰 (1団体) 【産業振興に関し功績顕著】

キリンビール株式会社仙台工場 柴田 実 工場長

発売から15周年を迎えた遠野産ホップを使用する「一番搾り とれたてホップ生ビール」を製造し、工場での初仕込み式においては遠野の農産物や食材を来場者に提供するなど、遠野の魅力を全国に向けて発信し、遠野の知名向上と産業の振興に貢献した。

担当	総務部総務課行政文書係 (菊池)
	電話 0198-62-2111 (内線 212)



遠野市記者発表資料
平成 28 年 10 月 28 日
経営企画部

平成29年度遠野市総合計画の取組みについて

【発表の要旨】

平成 29 年度の総合計画実施計画策定方針及び歳入歳出予算編成方針を策定しました。

【発表の内容】

1 基本方針

- (1) 第 2 次総合計画及び遠野スタイル創造・発展総合戦略事業の推進
- (2) 台風災害からの復旧事業を引き続き優先
- (3) 平成 30 年の高速道路開通、国道 340 号整備完了等を見据えた対応
- (4) “産業”と“わらすっこ”が共に成長し、夢と希望を未来に紡ぐ施策に重点化
- (5) 自律的で持続可能な財政健全化

2 遠野市総合計画実施計画策定方針

- (1) 趣旨 第 2 次遠野市総合計画基本構想及び前期基本計画に基づき、主要施策を効果的かつ計画的に展開するため、平成 29~31 年度の 3 カ年の事業計画を策定
- (2) 重点的施策
 - ① 総合計画共通優先方針 (①産業振興・雇用確保、②少子化対策・子育て支援)
 - ② 「10・とおの約束」の推進
 - ③ 第 2 次遠野市総合計画前期基本計画登載事業
- (3) 基本的事項
 - ① 重点的施策を最優先
 - ② 地域経営会議で決定された事業
 - ③ ハード事業 1,000 万円以上、ソフト事業 100 万円以上 (義務的経費除く)

3 歳入歳出予算の編成方針

- (1) 基本的事項
 - ① 総合計画実施計画の着実な推進
 - ② 平成 29 年 4 月からの組織再編に係る必要経費の調整
 - ③ 法律改正等への的確な対応
- (2) 財政健全化の取組み ※裏面参照
 - ① 枠配分予算要求方式の実施(実施計画事業及び経常的経費の対前年度比 3 %削減)
 - ② 使用料、手数料等の見直し(利用者負担の適正化の検証)
 - ③ 歳入確保策の検討・実施(市有林立木売払い、遊休資産の処分など)
- (3) その他
 - ① 「市長と語ろう会」「市政なんでも相談箱」など、市民ニーズ等への対応
 - ② 各特別会計の中期財政計画に基づく繰出金の調整 など

4 スケジュール

説明会の開催	予算要求等	市長査定等
9/29 職員説明会	9/30～10/24 予算要求 10/25～11/14 各課ヒアリング	11/17～11/22 一次調整 12/15～12/21 二次調整 1/17～1/20 市長査定

◇ 財政健全化の取組み

取組目標 2億6,200万円

1 枠配分予算要求の実施

目標 2億円の経費削減

- 実施計画登載事業費及び施設管理費などの経常的経費について、前年度予算よりも3%削減する。

2 使用料、手数料等の見直し

目標 200万円の歳入確保

- 3年ごとに公共施設等に係る使用料、手数料等の収支バランスの検証作業を行い、利用者負担の適正化を図る。

3 岁入確保策の検討及び実施

目標 6,000万円の歳入確保

- ①計画的な市有林立木の売払い（約1,000万円の収入増）
- ②遊休財産（区画整理に係る保留地等）の処分（約1,000万円の収入増）
- ③ふるさと納税の推進（約4,000万円の収入増）

担当	経営企画部(佐々木利幸・小森)
	電話 0198-62-2111 (内線 222・145)

平成29年度遠野市総合計画の取組みについて

1 依然として厳しい財政運営

国の平成29年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針では、「『経済・財政再生計画』の枠組みの下、手を緩めることなく本格的な歳出改革に取組む」と示されている。これまでの歳出改革の取組みを強化するとともに、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除しつつ、予算の中身を大胆に重点化するとしている。特に、今年6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」「経済財政運営と改革の基本方針2016」「日本再興戦略2016」の3つの主要施策に係る予算にあっては、特別に配慮するとともに、構造改革を加速させる施策をより明確化していくとしている。

この方針に基づき総務省が要求した来年度の地方交付税は前年度に比べ ▲4.4% (7,415億円減)、財源不足を国と地方で折半する臨時財政対策債は対前年度比 24.5% (9,284億円増)。本来の役割である財源調整機能と財源補償機能が適切に発揮されるよう、地方の一般財源総額について前年度を下回ることのないよう確保するとはしているものの、3つの主要施策への予算の重点化と併せ、アウトソーシングなどの地方財政の健全化に資する事例に交付税の配分を重点化する「トップランナー方式」の導入などにより、聖域を設けることなく国予算全体の見直しが進められている。国と地方を合わせた長期債務残高も平成26年度決算すでに1,000兆円を超えており、地方においてはより一層の財政健全化が求められることが予想される。

2 台風災害などの新たな課題

平成26年9月にまとめた岩手県の中期財政見通し（平成26～28年度）では、社会保障関係経費、岩手国体に係る経費や退職手当の増額などにより、各年度の決算額はそれぞれ 120～240億円の赤字で推移するとの見通しが示されている。しかし、県税等の徴収強化、未利用資産の売却、歳出の徹底した抑制などの取組みが功を奏し、平成27年度決算における実質収支額は約 254億円の黒字。県税や使用料などの自主財源にあっては前年度に比べ 350億円増額（7.0%）で、特に県税にあっては 125億円の増額（10.8%）となり、東日本大震災からの復興及び「いわて県民計画」で示す希望郷にまた一步近づく結果となった。

しかし、8月30日に本県へ上陸した台風10号による豪雨災害は予想を遥かに超える甚大な被害をもたらした。県が発表した9月12日時点のまとめでは、被害総額は 822億 3,425万円とされ、現在続けられている調査の結果次第では、被害額はさらに拡大すると見込まれている。東日本大震災からの復興を目前に新たな壁が大きく立ちはだかる結果となり、特に大きな被害を受けた岩泉町、久慈市、宮古市では、県を中心とした復旧作業が進められ、引き続き「オール岩手」による復興作業が必要となっている。

3 平成29年度総合計画基本方針

平成29年度は、「第2次遠野市総合計画前期基本計画」及び「遠野スタイル創造・発展総合戦略」の2年度目であり、将来像に掲げる「永遠の日本のふるさと遠野」の実現するためには、引き続き手を緩めることなく様々な施策を講じなければならない。

特に、台風10号による被害への復旧等に関しては、平成28年度補正予算での対応もさることながら、平成29年度当初予算においても引き続き優先する。また、平成30年に予定されている東北横断自動車道釜石秋田線の釜石・花巻間の全線開通や、国道340号立丸峠工区の整備完了に合わせ、本市の魅力をさらに高め、発信し、観光振興はもとより、交流・移住・定住人口の拡大、企業誘致に伴う就労人口の確保に向けた新たな取組みに挑戦する年としたい。

のことから、これまで以上に“産業”と“わらすっこ”的成長が期待でき、かつ、“夢と希望を未来へ紡ぐ”ことのできる施策に予算等を重点化していく。

4 総合計画実施計画策定方針

(1) 計画策定の趣旨

遠野市総合計画実施計画（以下「実施計画」という。）は、第2次遠野市総合計画基本構想及び前期基本計画に基づいて、将来像に掲げる「永遠の日本のふるさと遠野」の実現に向けて主要施策を効果的かつ計画的に展開するために策定する。

(2) 計画の期間

実施計画の実施期間は平成29～31年度の3箇年とし、前期基本計画に登載する事業を中心とする。

(3) 編成の方針

① 重点的施策の調整

共通優先方針として示す下記2項目については、人口減少からの脱却を図るために重要な取組みとして位置付ける。また、市長が示す「10・とおの約束」については、確実な実行につながるよう調整する。

ア 共通優先方針

(ア) 産業振興・雇用確保

台湾ミッションなどによる六次産業の推進、平成31年のラグビーワールドカップや平成32年の東京オリンピックを契機とした観光推進を図るほか、ローカルベンチャー事業による新たな産業の創造、ポスト国体への取組み、ふるさと納税による地域特産品と本市の魅力を積極的に発信するなど、市民所得の向上と定住・交流人口の拡大に取組む。

[具体的な内容]

- ・ 新タフ・ビジョンⅡに基づく、足腰の強い農林畜産業の振興を図るための事業費
- ・ 事業者間連携の推進、事業所立地力の強化、発信力ある研究開発支援、起業家支援の推進、雇用確保、若者定住と人材育成の再構築など産業振興を図るための事業費
- ・ 第1次、第2次、第3次産業の枠組みを越えた、農商工連携による6次産業化の推進（公共牧場再編整備、キャトルセンター整備、森林・環境・林業と木工団地の連携、馬事振興など）
- ・ 有害鳥獣対策や放射性物質影響対策
- ・ 連携・交流・観光産業の振興
- ・ 地方創生推進交付金事業の推進

(イ) 少子化対策・子育て支援

男女が出会う機会の創出から妊娠・出産・育児に至る切れ目のない支援、保育と教育の充実、住宅の確保、高校再編への対応など、安心して子育てができる環境づくりに取組む。

[具体的な内容]

- ・ 保育協会、教育委員会との連携
- ・ 子育て住宅の団地化を推進

[着手済み]

- ・ 学校等教育施設や保育・養育施設の環境整備のための事業費
- ・ 子どもたちの健全な成長を願い、子育て支援センター機能の充実など、快適住環境の整備を促進
- ・ 郷土芸能や遠野遺産など地域文化保全事業
- ・ 子育て優遇措置の充実
- ・ 出産を応援できる環境整備

イ “10・とおの約束”（緊急優先方針を除く）

(ア) 「しっかりと教え、きちんと学ぶ」… 教育環境の整備を推進

[具体的な内容]

- ・ 奨学金制度の充実
- ・ 教育歴史資料館の整備
- ・ まちなか図書館の整備と市立図書館、学校図書館のネットワーク形成

[着手済み]

- ・ 知育、德育、体育の充実(学力向上プロジェクト、郷土愛と道徳教育の充実、スポーツ振興と体力の強化)
- ・ いわて国体開催に向けた環境整備

(イ) 「ライフチャンスの更なる拡大」… 保健医療福祉の充実と再構築

[具体的な内容]

- ・ 社会福祉協議会との連携
- ・ 障がい者福祉施設の整備

[着手済み]

- ・ 健康寿命の延長と生涯現役で活躍できる環境の整備
- ・ 小友診療所の改築、健康づくりネットワークの拡大

(イ) 近未来につなぐインフラ整備を加速

[具体的な内容]

- ・ 国道396号宮守町内楽木道路の改良
- ・ 土淵達曾部線の歩道整備

[着手済み]

- ・ 市役所本庁舎整備の検討
- ・ 道路交通や情報通信などネットワーク基盤の整備推進
- ・ 東北横断自動車道や立丸峠トンネル化等の整備促進
- ・ 遠野住田線のクランク改良

(ロ) 安心・安全な生活環境の整備化

[具体的な内容]

- ・ 空き家対策の強化

[着手済み]

- ・ ゴミ処理体制の再構築、遠野市水道ビジョンの推進
- ・ 新エネルギービジョンに基づく再生可能エネルギーの活用
- ・ 公共下水道と浄化槽の整備
- ・ 交通安全、防犯活動、消費者相談の充実

(ハ) 「地域の“絆”」、「人の“つながり”」の再編成

[具体的な内容]

- ・ 90行政区再編の検討
- ・ 地区センターの人的配置の見直し
- ・ 民生委員を含めた地域リーダーの養成と確保
- ・ 地方の創生に寄与する集落ネットワーク圏の検討

[着手済み]

- ・ まちづくりの枠組みと市民協働体制の再編成の検討、地域活動専門員活動と地域リーダー養成

(カ) 「古くて新しいものは 光り輝くプロジェクト」の推進

[具体的な内容]

- ・ 駅前民話通りの無電柱化

[着手済み]

- ・ 市民センターライフ大規模改修
- ・ S-L停車場プロジェクトの推進
- ・ mm 1、めがね橋周辺環境整備の推進
- ・ 遠野遺産制度、郷土芸能の保護・伝承、芸術文化活動の推進
- ・ 千葉家曲り家の修復

(キ) 里山・里川 景観の保全継承を推進

[具体的な内容]

- ・ 計画的な河川改修の促進

[着手済み]

- ・ 里山と森林環境保全
- ・ 里川と水辺景観の再生

(4) 「備えあれば憂いなし」を実践

[具体的な内容]

- ・ 防災無線のデジタル化（同報系）

[着手済み]

- ・ 防災・減災まちづくりの条例化
- ・ 福祉避難所の確保
- ・ 消防団、婦人消防協力隊、自主防災組織の充実強化
- ・ 消防無線、防災無線のデジタル化（移動系）
- ・ 防災教育施設の整備
- ・ 道の駅や産直施設の防災機能強化

② 基本的事項に対する調整

下記事業については、健全財政5ヵ年計画の方針に基づく経費の抑制を図りながら、実効性のある事業計画として調整する。

ア 第2次遠野市総合計画前期基本計画に登載する事業

イ 緊急かつ重要な政策課題の解決に効果が期待できる施策として、政策会議で決定した事業又は政策会議に諮る予定の事業

ウ 新規事業については、概ねハード事業 10,000 千円以上、ソフト事業 1,000千円以上とし、緊急性、効率性、公平性、優先性、必要性等の条件を満たす事業のみ調整する。

エ 職員人件費や庁舎等の維持管理費用など義務的経費は登載しない。

5 平成29年度当初予算編成方針

自律的で持続可能な行財政運営を築くため、既定の歳出の合理化・効率化に努めるとともに、より一層の歳入確保に取組むこととする。

投資的経費や臨時の経費については実施計画に登載する事業を最優先するとともに、地域経済と財政が好循環することのできる事業を基本に、下記事項へ留意し編成する。

(1) 政策解題への的確な対応

遠野市総合計画基本構想に掲げる将来像「永遠の日本のふるさと遠野」の実現に向けて、達成目標である「まちづくり指標」への貢献度の高い事業で、総合計画前期基本計画、実施計画に位置付けられた事業を確実に実施すること。

(2) 組織再編関連経費の調整

内部組織の体制再編については、地域経営会議での方針決定を踏まえ、来年4月から新体制で事務を進めることができるよう、車両の集約化や施設の維持管理経費など、必要となる経費をもらすことなく要求すること。

(3) 法律改正等への対応

法律改正等が見込まれる事業については、その具体な情報を収集・分析し、真に必要な経費を要求す

ること。

(4) 財政健全化への取組み

① 枠配分予算要求方式の実施

経費の最適化を維持し、政策的事業への予算の重点化を図るため、部ごとに予算要求枠（別紙）を設ける。各部では、要求の基本方針、ポイントや成果目標等をまとめた「平成29年度予算要求概要資料」を作成の上、施設維持管理等に係る経常経費や実施計画登載事業費を含めた予算の総額を調整した上で要求すること。（概要資料は、要求締切り後、一覧にまとめ庁議報告する予定）

なお、平成29年度の一般財源額は、平成28年度よりも約11億円減少する見込みであることから、各部の目標額を平成28年度当初予算の ▲3.0%とする。予算要求枠を超える場合は、全体の要求額や各施策とのバランス等を総合的に勘案し、1次・2次調整の中で精査する。

② 歳入確保の取組み

3年に1度の周期で使用料・手数料等の適正性を検証することとしていることから、地域経営会議においてすでに見直しの対象となる使用料・手数料等にあっては、この見直しを確実に進め、予算に反映させること。

また、市有林経営計画に基づく立木の売払い、遊休資産の積極的な処分など、これまで行ってきた取組みを継続して行い、地域経済の発展に資する事業への財源を捻出する。

③ その他

ア 市民ニーズ等への対応

市長と語ろう会、監査指摘事項、市政何でも相談箱等で市民と約束をした改善項目、8月の台風災害において市民から寄せられた提言や課題等については、実施時期や費用対効果、他地域とのバランス等を十分検討し、予算要求の有無に関わらず、必ずその方針を示すこと。

イ 計画に基づかない事業費の調整

各種計画に基づかない事業費の要求にあっては、当該事務事業の緊急性、必要性について十分説明できるようにしておくこと。

ウ 類似する事業費計上の防止

限られた財源を有効的に配分するため、類似事業がある場合は、廃止・統合等の再編成を促すこと。

エ 新たな施設整備や財産の取得

新たな施設を整備する場合は、計画時点から施設完成後の管理運営手法等を具体的にイメージし、これまでのように官主体による管理運営だけではなく、民との協働を生み出すような仕組みを加え、職員数が縮減する中においても行政サービスの品質確保と経費の適正化が図られるような事業計画を立案すること。

オ 情報システム

情報システムの導入にあっては、現在の業務スタイルの見直しを含めた検討を行い、行政サービスの向上と業務効率化の両立に資するものとすること。

カ 部課長会議における提案事業の実現

定例部課長会議で各課長から提案された事業については、事業の実施時期、効果、財源等の具体的な検討を踏まて要求すること。

キ 特別会計への繰出金

特別会計への繰出金の積算にあたっては、各特別会計の中期財政計画に基づき調整を行う。

(5) 事業概要見積書の記載

事業概要見積書の「事業の概要」「指標(目標値)の設定及びその積算方法」欄は、決算附表である「主要な施策の成果説明書」に直接反映されるため、「この予算は何をするためのものか」「どういう成果をねらいとしているのか」を市民に分かりやすく伝えることを意識して入力すること。

特に、実施計画登載事業にあっては、決算附表への掲載を義務付けていることから、その年度の特徴的な取組みを記載するなど、毎年度一字一句同じ内容にならないよう注意すること。

(6) その他

総合計画及び当初予算の要求は、必ず部長等の決裁を経ること。

経営企画部のヒアリング担当者が事業内容や積算根拠等を容易に理解することができるよう、簡単明瞭な資料を準備して臨むこと。

6 作業スケジュール

平成29年度の実施計画及び当初予算編成は、次の日程で作業を進める予定である。

[平成 29 年度 実施計画・当初予算編成作業等日程]

・ 職員説明会	9月29日（木）
・ 予算入力開始	9月30日（金）
・ 第6回地域経営会議（予定）	10月24日（月）
・ 予算入力ロック	10月24日（月） 17時
・ 予算ヒアリング	10月25日（火）～11月14日（月）
・ 一次調整（政策推進総括課長、財政担当課長調整）	11月17日（木）～22日（火）
・ 一次調整結果通知（実施計画・当初予算）	11月22日（火）
・ 部長復活要求書提出期限	11月28日（月）
・ 第7回地域経営会議（予定）	11月28日（月）
・ 二次調整（経営企画部長調整）	12月15日（木）～21日（水）
・ 二次調整結果通知（実施計画・当初予算）	12月21日（水）
・ 市長復活要求書提出期限	12月26日（月）
・ 第8回地域経営会議（予定）	12月26日（月）
・ 市長査定	1月17日（火）～20日（金）
・ 平成 29 年度実施計画・当初予算決定	1月26日（木）

※上記日程は、変更する場合があります。



スポーツツーリズム推進室の設置について

【発表の要旨】

東京オリンピックでのホストタウン(*)、スポーツ大会の誘致・開催及び大学のスポーツ合宿等の誘致活動を実施し、更には観光、交流人口の拡大などを総合的に推進するため、11月1日付で、スポーツツーリズム推進室を設置します。

【発表の内容】

1 スポーツツーリズム推進室の新設について

スポーツには、「する」だけでなく、「観る」、「応援する」、「支える」、「人との交流」など、多様な価値や魅力がある。このスポーツが持つ多様な価値や魅力を、観光、交流人口の拡大及びまちづくりなど、更なる地域の活性化につなげていきたいと考える。

当市は、希望郷いわて国体開催を機にサッカー場等の整備を行っており、観光資源も豊富にある。

国体で培った大会運営に関するノウハウや、心のこもったおもてなし、遠野市の持つ「サッカー」を中心としたスポーツ施設の有効性や観光資源をPRしながら、これらを総合的に推進するため、遠野市民センターに「スポーツツーリズム推進室」を設置する。

2 体制

室長以下3名体制

3 当面の動き

先進事例調査の実施並びにトラベル・エージェント及び県内外の大学を訪問し、誘致活動を実施する。

*ホストタウン

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体のこと。

担当	総務部総務課（菊池 享） 電話 0198-62-2111（内線 380）
----	---



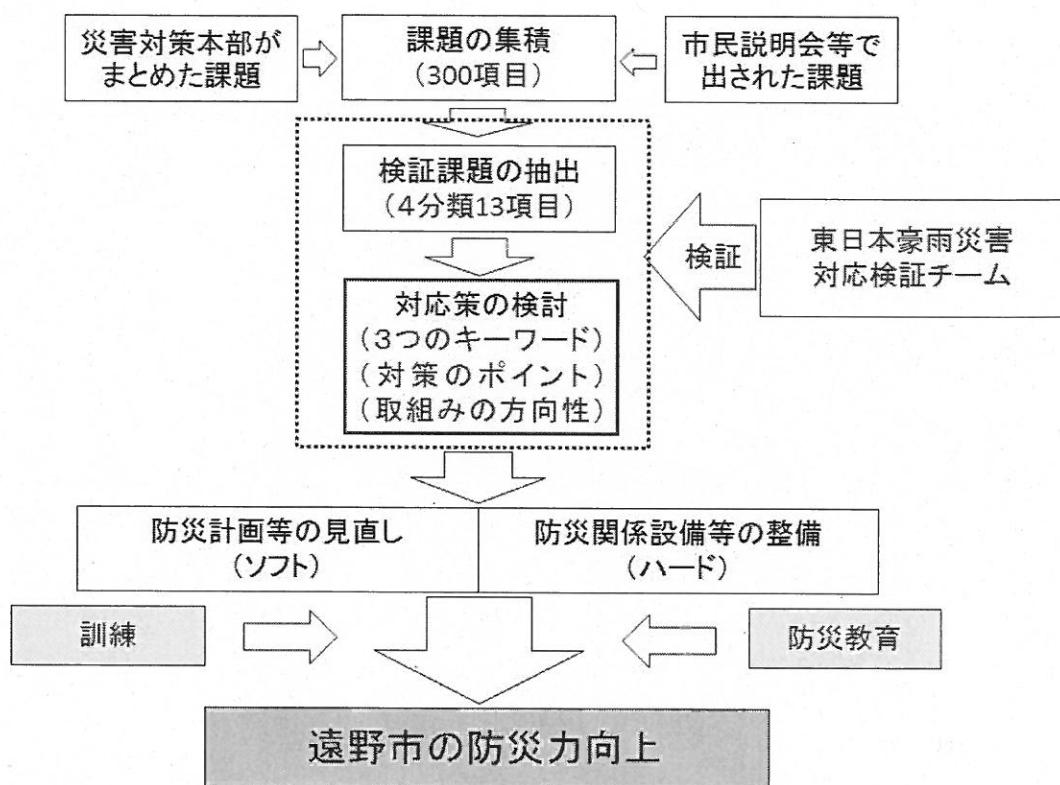
東日本豪雨災害対応に係る検証結果について

【発表の要旨】

平成28年8月30日、市内で多くの被害が発生した「平成28年東日本豪雨（台風10号）」の災害対応について、遠野市では検証チームを立ち上げ、検証を進めてきました。その検証結果は以下のとおりです。

【発表の内容】

1 検証作業のフロー



2 主な検証内容

(1) 組織・初動体制について

ア 地域防災力（自主防災組織）の強化

- ・自主防災組織と消防団との連携、自主防災リーダーの育成、対応マニュアルの作成が必要
- ・避難所設置、運営体制等についての研修会の実施が必要

イ 初動体制の見直し

- ・事前防災行動計画（タイムライン）の策定が必要

(2) 避難情報の内容・伝達方法について

ア 避難情報の内容の周知

- ・災害の危険性、避難情報の意味とその重要性を啓発するなどの確かな避難情報発令が必要
- イ 遠野テレビの機能強化
- ・報道体制の強化が必要
- ・降雨の状況や河川水位をリアルタイムに放送する仕組みの構築が必要
- ・L字放送のより有効な活用が必要

(3) 避難所のあり方

ア 避難所の指定について

- ・災害種別による避難所計画の見直し、及び避難所施設の整備を行い、速やかに周知することが必要

イ 福祉避難所について

- ・一時避難所への避難の後、適切な福祉避難所への避難となることの周知が必要

(4) 要援護者について

ア 要援護者に関する情報の共有について

- ・災害時、要援護者の情報リストを市から提供できることの周知徹底が必要

イ サービス事業者との連携について

- ・サービス事業者、市、自主防災組織が連携して避難支援できる仕組みが必要

3 主な今後の取り組み

(1) 自主防災組織の育成と防災意識の高揚

ア 防災意識の啓発

イ 防災マップを活用した地域の危険度の周知と住民理解の促進

ウ 自主防災組織と消防団の連携

エ 自主防災リーダーなどの人材育成

(2) 適切な避難の実現に向けた取り組み

ア 気象情報など避難に関する有効な情報の収集と情報の活用

イ 災害の種別に応じた避難所計画の見直し及び避難所施設の整備

ウ 災害の危険性や避難情報発令の意味、その重要性の啓発などによる住民意識の改革

エ 要援護者避難への支援

(3) 迅速な初動体制と情報伝達の確立

ア タイムラインの策定

イ 気象や河川水位情報への的確な収集体制の確立

ウ 多様な手段による迅速な情報の収集と確実な情報伝達の実施

エ 遠野テレビの災害における報道体制の強化



遠野市記者発表資料
平成 28 年 10 月 28 日
環境整備部都市計画課

災害公営住宅の整備について

【発表の要旨】

東日本大震災に伴い県内陸部に避難している被災者再建のため、遠野市に整備する災害公営住宅についてお知らせします。

【発表の内容】

10月13日に岩手県が公表した内陸部への災害公営住宅建設に関し、当市は自らが事業主体となって整備を進めることになりました。

入居希望者の内訳は、市内にある応急仮設住宅並びにみなし仮設住宅の入居者及び市外のみなし仮設住宅の入居者となっており、今後入居予定者の世帯人数・年齢・住居ニーズ等を把握しながら建設を進めます。

建設地は確実かつ早期に整備を図るため市有地を基本とし、入居予定者の意向を確認しながら早期に場所を決定します。

建設に際しては内陸部へ建設する岩手県や花巻市と情報交換を行いながら復興交付金事業計画を策定し、避難者の一日も早い住宅再建に向け連携を図りながら整備を進めてまいります。

1 整備予定戸数及び住戸形式

14戸 木造長屋形式及び戸建て形式

2 今後のスケジュール

平成 28 年 10 月下旬～ 入居希望者への説明会、個別意向確認

平成 29 年 1 月～2 月 復興交付金事業計画の策定・提出

4月～ 災害公営住宅基本設計実施設計・一部工事着手



遠野型ふるさとテレワーク推進事業について

【発表の要旨】

遠野市は、ICTを活用した地方創生や働き方改革への取り組みとして、総務省の情報通信技術利活用事業費補助金を活用して、「遠野型ふるさとテレワーク推進事業」に取り組みます。

【発表の内容】

1 事業概要

旧土淵中学校（遠野市土淵町土淵 4-21-6）を事業拠点とし、ふるさとテレワークの実践や遠野みらい創りカレッジ（平成 27 年度利用者約 5,400 人・宿泊数約 2,000 泊）と連携したふるさとテレワークのPRや体験を行います。

遠野市で都市部の仕事ができるか、通信環境等を「体験・お試し」する機会を提供することにより、ICTを活用した地方創生や働き方改革を進めます。

※「ふるさとテレワーク」とは、都市圏で働いていた人が、テレワークを活用することで、いつもの仕事をつづけながら地方への移住を実現するライフスタイルを指します。

(1) サテライトオフィスの整備（テレワークの実践）

空き教室を活用して、テレワークを実践する、サテライトオフィスを整備します。

また、テレワークの効用・効果を体感できるデモオフィスとしても活用します。

(2) コワーキングスペースの整備（テレワークのPR・体験）

遠野みらい創りカレッジへの参加者や少数でのテレワーク業務及び遠野地域の企業家などが活用するコワーキングスペースを整備し、テレワークのPRや体験に活用します。

(3) 主な設備

什器、インターネット環境、テレビ会議システム、セキュリティ環境、複合機等

(4) 事業費

14,670 千円（情報通信技術利活用事業費補助金を活用）※10月 21 日交付決定

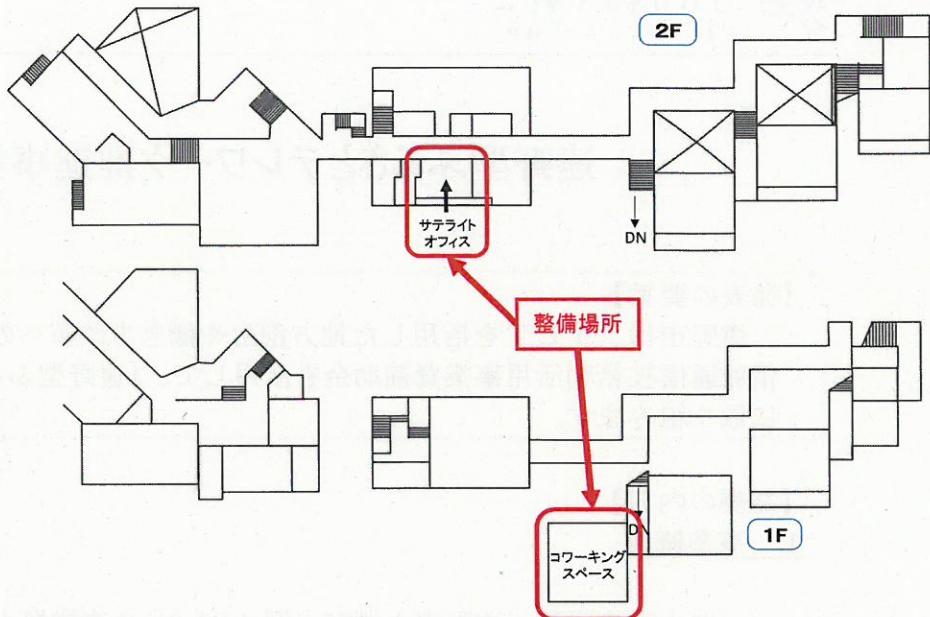
2 整備時期

平成 29 年 1 月（予定）

担当	経営企画部ICT推進担当（伊藤） 電話 0198-62-2111（内線 300）
----	---

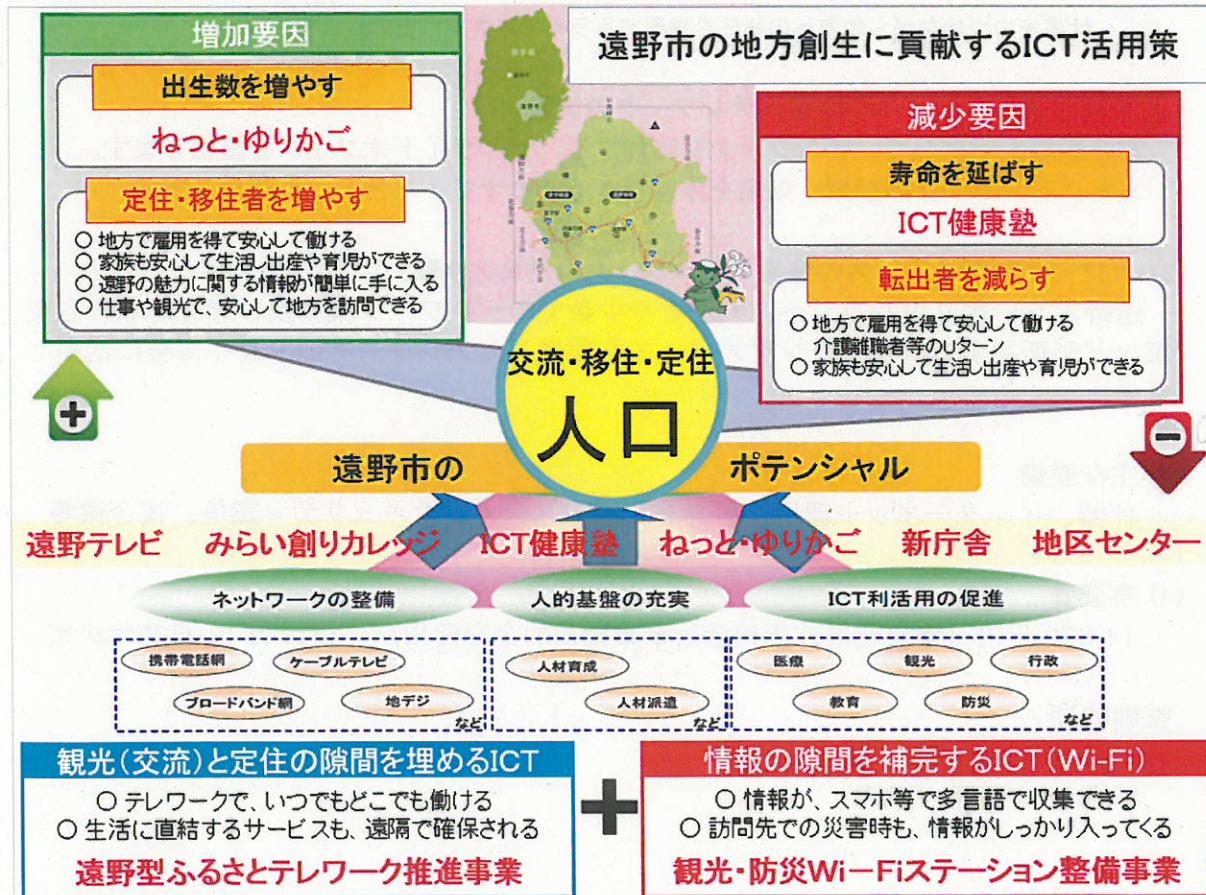
3 整備箇所

○旧遠野市立土淵中学校外観□2階建て



4 備 考

この事業は、市長が構成員であった、総務省の「地方のポテンシャルを引き出すテレワークや Wi-Fi 等の活用に関する研究会」において議論された、地方の魅力発信等を促進することで、地方への人の流れを生み出す ICT 利活用として取り組むものです。





平成28年度上半期の観光客等入込状況について

【発表の要旨】

平成28年4月から9月までの市内全体の観光客等の入込数は99万7千人で、前年同期比約12%の減少であった。

【発表の内容】

1 平成28年度上半期の入込客数

本年度上半期の観光入込客数は、昨年同期と比較すると約13万7千人減少(前年比87.9%)であった。

宿泊者数は横ばいであるが、観光施設の入込は伸び悩んでいる状況である。

2 種別毎とイベント毎の入込客数

[表1:平成28年度上半期種別毎入込実績]

単位:人

種別	入込客数	前年入込客数	前年比
「早池峰山」登山者	12,900	8,400	153.6%
観光施設	150,700	182,400	82.6%
道の駅	726,900	800,200	90.8%
イベント	64,000	100,050	64.0%
宿泊施設	43,100	43,600	98.9%
合計	997,600	1,134,650	87.9%

[表2:観光イベント入込実績]

単位:人

イベント名	入込客数	前年入込客数	前年比
遠野さくらまつり	10,000	10,000	100.0%
東北馬力大会馬の里遠野大会	5,000	4,500	111.1%
遠野ホップ収穫祭	4,500	2,500	180.0%
日本のふるさと遠野まつり	30,000	32,000	93.8%
その他のイベント	14,500	51,050	28.4%
合計	64,000	100,050	64.0%

3 主な要因

(1)主な観光施設の入込客数→「減少」

各施設常に趣向を凝らしたイベントや企画で誘客に努めている。

- ① 「風の丘」は、インターネットでのPRに加え、今年からラジオコマーシャルでのPRも取り組んでいるが、遠野IC開通後立ち寄り件数の減少により6万4千人程減少した。(前年同期入込客数619,157人→今期555,017人)
- ② 「千葉家」は、今年4月から改修休業中であることから1万5千人程減少した。(前年同期入館者数15,800人→今期0人)

(2)主な観光イベントの入込客数→「減少」

「納涼花火まつり」と「遠野まつり」は天候の影響で入込数が減少した。

(3) 主な連休期間の入込客数→「微増」

- ① ゴールデンウィークの入込は、期間中天候にも恵まれ、長い連休を取りやすい曜日の配列であったため、前年と同じ入込数であった。
- ② 盆中の入込は、天候にも恵まれことや、祝日として新たに加わった8月11日の「山の日」の効果等により全体としての入込客数は微増(対前年比 102.5%)であった。

4 今後開催予定のイベント

単位：人

イベント名	イベントの概要	実施期間	目標入込者数 (前年度実績)
第17回 遠野どべっこ祭り	遠野ふるさと村の曲り家で、どぶろくを片手に、郷土料理と神楽を楽しむ、遠野の冬の風物詩。	平成28年11月12日(土) ～平成29年3月5日(日)	1,200 (552)
第34回 遠野昔ばなし祭り	先代から語り継がれている昔話を地元の語り部やこども語り部が披露。	平成29年2月25日(土) ～26日(日)	400 (331)
第18回 遠野町家のひなまつり	城下町「遠野」に古くから伝わる「おひなさま」や手作りの「みずきびな」などを展示。	平成29年2月24日(金) ～3月5日(日)	30,000 (19,262)
合 計			31,400

5 今後の展望

来訪者の動向・ニーズを踏まえ、観光関係機関・団体が一体となって観光振興策を協議し、PRや受入環境整備に取り組み、入り込み増を目指す。

今年度後期の取り組みとして、冬の三大イベントを総称した「遠野ふゆ物語」について、県内テレビ局等へPRキャラバン(計2回)を行い、誘客を図る。

さらに、平成29年度は伊能嘉矩生誕150年記念を迎えることに伴い、業績を広く内外に情報発信し、伊能嘉矩をきっかけとした台湾との観光・物産交流を活発なものとする。そして、交流人口の拡大を図ることを目的に実行委員会を立ち上げ、訪日外国人旅行客の誘致に取り組み、構築されたプラットフォームを新たな観光振興体制へ発展させ、日本版DMOとなる観光推進協議会の設立を目指してアクションプラン(観光推進計画)を策定すると共に、「オール遠野で観光まちづくり推進」に取り組む。

また、インバウンド対策は必須である。外国人観光客のニーズも多様化しているのが現状であり、受け入れ機能の強化に努めるとともに、情報通信技術(ＩＣＴ)を活用した情報発信を進めていく。

担当	産業振興部商工観光課（細川） 電話 0198-62-2111 (内線 880-203)
----	--

遠野市民センターリニューアルオープン記念

第11回遠野市民芸術祭

Tono
Citizen
Art
Festival

■開会式

平成28年 10月29日(土)
午前8時45分～
(開場8時15分)

場所：市民センター大ホール

料金：舞台合同発表会の入場券が必要です

合同茶会

平成28年 10月23日(日)

午前10時～午後3時

場所／市民センター講義室、勤労青少年ホーム和室

主催／表千家茶道阿字の会、三彩流蘭煎会遠野

料金／前売共通券500円(当日券1席300円)

無料

菊花展

平成28年 10月29日(土)・30日(日)

午前9時～午後4時30分

(30日は午後4時終了)

場所／あえりあ遠野中ホール

主催／遠野菊花会

総合展示会

無料

第11回シルバー文化祭合同開催

美術・文芸・書道・手芸・生け花等

平成28年 10月29日(土)・30日(日)

午前9時～午後4時30分

(30日は午後4時終了)

場所／市民体育館

主催：遠野市民芸術祭実行委員会

共催：遠野市教育委員会・遠野市芸術文化協会・(一財)遠野市教育文化振興財団

プレイガイド：とぴあ・みやもりホール・市民センター・各地区センター・(一財)遠野市教育文化振興財団

お問い合わせ：(一財)遠野市教育文化振興財団事務局 電話62-6191(内線224)

お楽しみ
抽選会が
あります

舞台合同発表会

舞踊・吟詠・吟舞・邦楽・洋楽・合唱等

平成28年 10月29日(土)

午前9時～

場所／市民センター大ホール

料金／前売券300円(当日券500円)

第11回 遠野市民芸術祭

舞台合同発表会 日程表・総合展示会 参加団体等名簿

舞台合同発表会 日程表 (予定)

10月29日(土)

市民センター大ホール

No.	出演時間	出 演 団 体	種 別
1	9:00~	茜屋出雲流松栄会	舞踊
2	9:20~	茜屋出雲流松真澄会	舞踊
3	9:40~	茜屋出雲流松夢登会	舞踊
4	10:00~	遠野若柳吉聖会	舞踊
5	10:20~	鶯扇流鶯慶会	舞踊
6	10:40~	芳柳流寿々美輝会	舞踊
11:00~ 休憩			
7	11:15~	遠野少年少女合唱隊	合唱
8	11:35~	遠野吟詠会・遠野吟舞会	吟詠・吟舞
9	11:55~	菊生流	舞踊
12:15~ 休憩・抽選会			
10	12:45~	遠野愛琴同趣会	大正琴
11	13:05~	遠野民踊会	舞踊
12	13:25~	白扇流白扇会	舞踊
13	13:45~	芳柳寿々霞会	舞踊
14	14:05~	遠野コーラス桑の実	合唱
15	14:25~	遠野市民混声合唱団「ふきのとう」	合唱
16	14:45~	きら星二胡会	二胡
17	15:05~	芳柳すみれ会	舞踊
18	15:25~	芳柳流寿々美麗会	舞踊
19	15:45~	宮守吟詠会	吟詠
20	16:05~	都山流尺八遠竹会	邦楽
21	16:25~	生田流正派雅楽明会	邦楽
16:45~ 休憩・抽選会			
22	17:00~	コンブリオ銀河混声合唱団	合唱
23	17:20~	若松流花一輪会	舞踊
24	17:40~	遠野市民バンドニュー・リバティーズ	洋楽
25	18:10~	宮田社中	舞踊
26	18:30~	ティアレファ・ココナツ	舞踊
27	18:50~	多田 光男	洋楽

総合展示会 参加団体等名簿

10月29日(土)・30日(日)

市民体育館

団 体 名	種 別
草月流岩手支部桐交会	生花
小原流麗華会	
小原流海老豊洋社中	
早池峰書会	書道
勤労青少年ホームサークル「墨遊会」	
介護老人保健施設とおのデイケア	
あすなろ俳句会	文芸
遠野川柳会	
絵画グループトオヌップ	
水墨画“のぼたんの会”	美術
風花アート	
パッチワーク花みずき会	
青の会	工芸
パンの花教室	
ふれあいホーム薬研淵	
多田 礼子	個人
萩野 玲子	
鶴見 富士子	
目澤 ミヤ子	
馬場 克尚	
豊田 佳奈子	
脇山 光夫	

第11回シルバー文化祭合同開催

10月29日(土)・30日(日)

市民体育館

団 体 名	種 別
遠野市老人クラブ連合会	手芸等

菊 花 展

10月29日(土)・30日(日)

あえりあ遠野中ホール

団 体 名	種 別
遠野菊花会	菊

遠野市民センターリニューアルオープン記念

第27回

遠野少年少女合唱隊発表会

平成28年

11月13日日

開場 13:30 開演 14:00

あえりあ遠野中ホール

入場料

一般 300円 (当日400円)

高校生以下 200円 (当日300円)

※未就学児入場無料

～プログラム～

第1部

秋に歌う

♪ あそびうたメドレー
♪ 遠野地方に伝わるわらべうた など

第2部

遠野市立遠野中学校合唱部
コンサート

第3部

明るい未来への歌声

♪ 365日の紙飛行機
♪ 笑顔の賛歌 など

主催 遠野市・遠野市教育委員会・遠野少年少女合唱隊父母会

プレイガイド とぴあ・みやもりホール・市民センター・各地区センター・一般財団法人遠野市教育文化振興財団

主管・問い合わせ 一般財団法人遠野市教育文化振興財団 TEL0198-62-6191/mail@tono-ecf.or.jp

遠野市民センター
リニューアルオープン記念

第39回

遠野市民センターバレエスタジオ

発表会

- 特別出演 ● 横内国弘
- 第1部 ● レ・シルフィード
- 第2部 ● 人形の部屋・
バレエコンサート
- 第3部 ● ささやく遠野

日時

平成28年11月20日(日)

〈開場〉午後1時 〈開演〉午後1時30分

会場

市民センター大ホール

入場料

〈一般〉…………1,000円 (当日 1,200円)

〈高校生以下〉……600円 (当日 800円)

* 未就学児は無料です。

遠野町家のひなまつり
平成29年2月24日(金)～3月5日(日)



開催日 平成29年
2月24日(金)～3月5日(日)
開催時間 10:00～16:00



お食事・お休み処

提供店	電話	提供期間	品名(価格)	備考
① お休み処 やおちゅう (0198-3043)	(0198-3043)	2/24～3/5	●桜ひつみそば(800円)	1日限定20食
② ボランティア市民交流サロン ちょぼら (0198-3535)	(0198-3535)	3/1～3/3	●カムカムひなランチ(700円)	1日限定15食 (要予約)
③ 食堂喫茶 Cocomana (0198-4384)	(0198-4384)	2/25～3/3	●おひな様膳(1,000円) ●桜花ひなん(320円)	各1日限定15食
④ 茶道表千家流 遠野吉祥会 (0198-5426)	(0198-5426)	2/24～2/26	●薄茶点前(抹茶・菓子)(300円)	
⑤ 御食事と喫茶 のんのん (0198-1655)	(0198-1655)	2/19～3/3	●ひなパフェ(800円)	1日限定10食
⑥ 旅館平澤屋 (0198-3060)	(0198-3060)	3/1～3/3	●ひな弁当(1,500円)	1日限定20食 (要予約)
⑦ 山小屋 (0198-2284)	(0198-2284)	2/24～3/5	●紅白ハンバーグ(1,080円)	
⑧ 遠野市一日市商店街振興(協) (0198-2518)	(0198-2518)	3/4	●おみさんセット(500円)	1日限定30食
⑨ あえりあ遠野 (0198-1703)	(0198-1703)	2/24～3/5	●雛膳(2,160円)	1日限定30食
⑩ 料理茶屋 あべ家 (0198-0077)	(0198-0077)	3/1～3/3	●お持ち帰り用ひな膳(2,000円)	要予約
⑪ お食事処 伊藤家 (0198-1110)	(0198-1110)	2/24～3/5	●雛膳(1,500円)	1日限定20食
⑫ 寿司紅屋 (0198-3764)	(0198-3764)	2/25～3/3	●テラシセット(1,600円)	1日限定20食 (要予約)
⑬ 日本料理 句葉和田 (0198-0266)	(0198-0266)	2/24～3/4	●ひな懷石(3,240円)	
⑭ 鮎木むら (0198-1144)	(0198-1144)	2/24～3/5	●ひなずし御膳(2,500円)	要予約
⑮ きものを楽しむ会 (0198-2661)	(0198-2661)	2/24	●きもの姿でひな遊び (お茶・軽食1,000円)	要予約 9時まで来場
⑯ 遠野保育園 (0198-2034)	(0198-2034)	2/24	●園児によるお茶会	無料
⑰ (有)福山荘 (0198-4120)	(0198-4120)	2/24～3/5	●ひな御膳(1,500円)	1日限定10食

※平成28年8月31日時点の予定であり、内容価格等が変更される場合があります。



遠野町家のひなまつりのお問い合わせ
遠野商工会
TEL (0198) 62-2456 FAX (0198) 62-2356
E-mail▶shokokai@echna.ne.jp URL▶http://www.shokokai.com/tohno/

観光のお問い合わせ

(一社)遠野市観光協会

〒028-0522 岩手県遠野市新穀町5-8 TEL (0198) 62-1333
URL▶http://www.tonokikan.jp/ FAX (0198) 62-4244

※この内容は平成28年8月31日時点のものであり、変更となる場合がございます。ご了承願います。

遠野町家の
ひなめぐり
マップ。

マークのご説明

- ★古縁特別公開
- 食事・お休み処
- ギャラリー展示・イベント

次の会場では入場料が必要となります。

- 遠野市立博物館……一般 300円
高校生以下 150円
 - とおの物語の館……一般 500円
高校生以下 200円
- (2/24～3/5の期間中13:00より昔語実演)

冬から春にかけての遠野観光には、防寒の準備をお忘れなく!

11月～12月	11月	12月	★雪も降り始め、冷え込む日が多くなります。厚手の上着にマフラーなどがある安心です。12月の道路は凍結しますので、車はスタッドレスタイヤが必要です。
	平均気温 / 4.9°C	平均気温 / -1.4°C	
	積 雪 / 0.2cm	積 雪 / 6.6cm	
1月～3月	1月	2月	3月
	平均気温 / -1.6°C	平均気温 / -1.0°C	平均気温 / 3.7°C
	積 雪 / 13.2cm	積 雪 / 9.9cm	積 雪 / 2.1cm

★気温が-10°C以下になることもある本格的な冬の気候です。帽子や手袋、マフラー、耳あてなどが必要です。雪が30cm位積もっていますので、長靴もしくは滑り止めの付いた暖かい靴がオススメです。車はスタッドレスタイヤ、チェーンが必要です。



遠野文化研究センター講演会

危機と日本人

— 今、遠野に伝えたいこと

平成 28 年

11月6日(日) 10:30-12:00

あえりあ遠野 (交流ホールさくら)
入場無料



やまおり てつお
講師 山折 哲雄氏

(宗教学者・遠野文化研究センター顧問)

1931年、サンフランシスコ生まれ。東北大学文学部卒業。
同大学院修了。国立歴史民俗博物館教授、国際日本文化研究センター所長を歴任。民俗の中の宗教現象へのアプローチから日本人の基礎信仰を探る。

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災以降、日本人は「想定外」「最悪の事態」に不安を募らせ誰もが内なる危機を抱えて生きている。

日本の歴史や文学に造詣の深い山折哲雄氏が、大災害に向き合う日本人の心象をひもとき、東北そして遠野に生きる私たちが、これから危機にどう向き合っていくべきかをあらためて考える。